



医療法人 円会  
瀬口脳神経外科病院

# まどか

第7号

## 病院理念

- ・ 私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努めています
- ・ 私たちは、患者様のための心のこもった医療サービスを提供します
- ・ 私たちは、常に脳・脊髄疾患の専門病院として高度且つ最新の医療を提供します



撮影：中島一男

### 主な記事

- 脳梗塞の治療  
t-PA (アルテプラゼ) …… 2・3
- 新看護部長あいさつ …… 3
- 臨床工学科の紹介 …… 4
- 病院祭 …… 5
- 薬の話「肺炎球菌ワクチン」 …… 6
- 社会福祉法人まどか紹介 …… 7
- 医師紹介 …… 8
- 外来診察案内 …… 8
- 脳ドック案内 …… 8

# 脳梗塞の治療 t-PA (アルテプラゼ)

以前では血液をサラサラにして流れをよくしたり、脳細胞を保護する薬の点滴が主な治療でしたが、2005年からt-PA (アルテプラゼ) という血栓を強力に溶かす薬が脳梗塞に対して使えるようになりました。この薬は特に太い血管が詰まった時に有効であり、血流が再び流れてくれれば重篤な後遺症を最小限に防ぐことができます。再開通しなければ寝たきりの状態になるところを、t-PAを使いほとんど後遺症なく退院される方も多くいらっしゃいます。



脳神経外科医 木内 貴史

しかしこの薬は血栓を強力に溶かす作用があるかわりに、脳出血という重い副作用を起こすことがあるので、これを防ぐために使用に際して多くの条件があります。最も厳しい条件は時間制限です。治療開始が遅ければ遅いほど脳出血の危険性が高くなるので、認可された当時は発症3時間以内に投与開始しなければなりませんでした。したがって、病院



MR I

に到着してからMRIや血液検査、レントゲン検査などを行う時間を考えると、遅くても発症2時間以内に病院に到着していなければなりませんでした。

この制限が安全性と有効性が見直されて2012年9月から4.5時間以内に緩和されました。これによって使用頻度は格段に増加しより多くの方に使用できるようになりました。

t-PAが無効であったり、使用できない方には開頭血栓除去術という手術を行う方法があります(下図)。ほかにも近年ではカテーテルを使い血管の中から血栓を抜き取る方法も進歩してきており、脳梗塞治療は年々進歩しています。

これらの治療はいずれも治療開始が早ければ早いほど治療成績はいいですし、出血の合併症も少ないのです。休日夜間問わずおかしいなと思ったら躊躇せずすぐに医療機関を受診することをお勧めします。



開頭血栓除去術の実際の画像  
脳の血管を一部切開し、詰まっている血栓を引き抜いているところ(矢印)



血栓除去術前



血栓除去術後

## 新看護部長あいさつ



平成26年4月1日より看護部長に就任いたしました平島まゆみと申します。

就任にあたり一言ご挨拶させていただきます。

現在の日本は、急激な高齢化社会へと進んでおり、医療の高度化、複雑化、高齢化に伴い看護職に求められる役割は大きいものがあります。2025年問題が指摘されて久しいですが、病院で働く看護職には「人々の暮らしを支える看護」が求められています。

脳脊髄疾患専門の急性期病院として、地域に根ざした医療を病院理念に掲げ、私たち看護部職員は、地域の皆様が安心して治療を受けられるよう質の高い看護の提供を目指し努力して参ります。

看護部の理念である「患者様の立場に立った、患者様中心の看護」の提供を目指し、また専門職としての誇りと責任を持ち、常に患者様やご家族の立場に立ち、寄り添い、心のこもった看護サービスを実践できる看護職員の育成に力をそそいでいきたいと考えております。

看護職員一丸となって努めてまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

# 臨床工学科の紹介

当院の臨床工学科の業務の一つに、高気圧酸素治療があります。

「あかま」とか「カプセル」とか説明していますが本当は「チャンバー」というものです。

どこの医療機関にもあるという設備ではありませんが適応疾患は各科、多疾患に及びます。当院では主に脳塞栓症・脳外科手術後・頭部外傷・脊髄損傷等の治療のために使われます。

治療時間は、約1時間30分です。



100%の酸素を使用し治療するため、多少の危険を伴うので治療前の点検では気が抜けません。安全に治療を行う事が何より重要です。

治療を苦痛と感じる患者さんもおられますので、テレビを見たりしてできる限りリラックスして治療を受けていただけるよう、心がけております。

その他の業務として医療機器の管理があります。

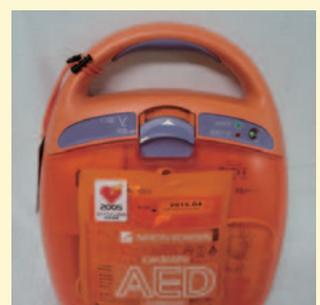
病院にはさまざまな種類の医療機器があります。



人工呼吸器・麻酔器・除細動器・AED・輸液用各種ポンプ・ベッドサイドモニター等々。

緊急時や必要なときにトラブルが起きないように管理しております。

ME臨床工学技士 宮下直之



# 病院祭

本年の6月6日に、瀬口脳神経外科病院は開院36周年を迎えることができました。これにあたり、医師からの講演を中心にした開院記念行事を同日開催致しました。昨年好評であった無料体験コーナーを、今年も用意して開催致しました。



今年の講演は『最新の脳・脊髄疾患の治療～当院の取り組み～』と題しまして医長の宮岡医師より講演をさせていただきました。脳ドックの観点から、脳疾患を予防するために必要なこと。脳神経外科が行う最新の治療の紹介を、写真などを織り交ぜて講演をさせていただきました、多くの方々にご参加いただきました。



脳ドックの新たなガイドラインには、MRI・頸動脈超音波・認知症スクリーニングの必要性が明記されています。特に動脈硬化は脳疾患の原因となるだけでなく、心筋梗塞等全身に影響を及ぼします。その為に検査設備等の充実が求められる点を紹介しました。また、脳外科医が行う手術の手技や設備についても画像を用いて紹介させていただきました。



またその他にも催しとして、栄養科「動脈硬化を防ぐ食生活」、看護部「頭痛とはどんな病気?」、放射線科「危険な頭痛とはどんな病気?」と題して、各部署の特色を活かした掲示物の展示を行いました。現在は待合ホールに展示してありますのでご覧ください。

合わせて、実際の検査機器を使用した体験コーナーも設置いたしました。栄養科からは、手作りの食物繊維(ひじき)入り蒸しパンの提供もあり、皆さまより好評いただきました。



短時間の開催にも関わらず、定員を超える多くの方々にご参加いただき、大盛況の中、開院記念行事を終えることが出来ました。来年も皆さまの期待に応えられるよう準備を進めて参ります。多くの方のご来院をお待ちしております。

開院記念行事準備委員長 佐々木 史光

# 薬の話 「肺炎球菌ワクチン」

平成26年10月より、65歳以上への肺炎球菌ワクチンの定期接種が始まりました。肺炎は、2011年死因別にみた死亡率で、悪性新生物・心疾患に続き第3位へと上がりました。今日、肺炎の発症を予防する事は、とても大切な事になりました。(※図1)

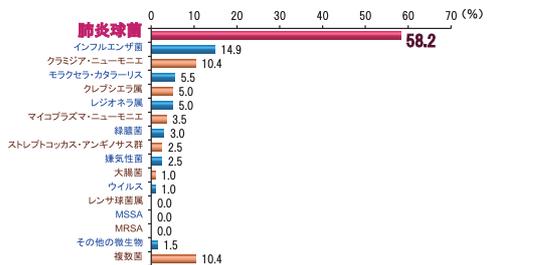
では、肺炎球菌ワクチンとは何でしょう？肺炎を予防するワクチンである事は間違いありません。但し、肺炎球菌と言う細菌のみ予防する事が出来るワクチンです。「肺炎球菌ワクチンを接種すれば、肺炎にならないの？」と誰もが期待をしてしまいます。

【図2】

## 市中肺炎の原因微生物の分離頻度 (倉敷中央病院, 2008~2010年)

市中肺炎では肺炎球菌の分離頻度が最も高い

(市中肺炎201例の起炎菌) \*不明菌は除く



対象・方法：2008年から2年間倉敷中央病院に入院した成人市中肺炎451例に対し、原因微生物についての前向き調査を行った

PMV14S031-0716

Tadaishi Ishida, Internal Medicine 2010 (51): 2537-2544, より作成

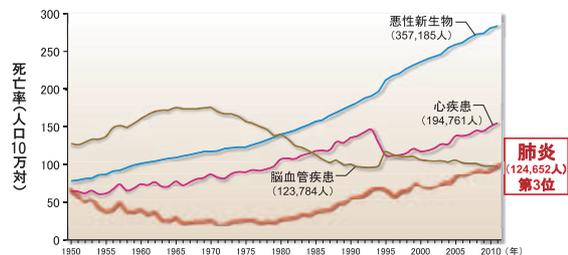
65歳を超えると、肺炎による死亡率が急激に増加します。肺炎球菌ワクチンは、インフルエンザワクチンの様に毎年接種するのではなく、1回接種すれば、5年間効果があります。5年毎に接種を行う事で、肺炎球菌起因肺炎の予防をする事が出来ます。定期接種の対象ワクチンになりましたので、これを機に肺炎球菌ワクチン接種を行っては如何でしょうか。(※図3)

薬剤師 寺沢裕二

【図1】

## 日本における死因別にみた死亡率の年次推移

### 肺炎は死亡原因の第3位



PMV14S031-0716

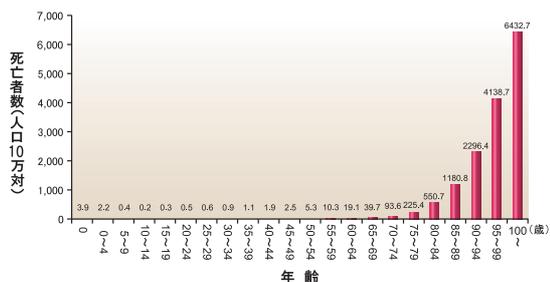
厚生労働省 人口動態統計月報年計(概数)の概況(2011年)より作成  
括弧内は2011年の死亡者数

しかし、肺炎球菌以外の細菌には効果が無い為に、肺炎に罹患してしまいます。「じゃあ接種しても意味がないのでは？」と思うかもしれません。肺炎は市中肺炎（医療機関等の施設以外で罹る肺炎）と院内肺炎（医療機関等の施設で罹る肺炎）で主に原因となる細菌が違います。肺炎球菌は、市中肺炎の半分以上が原因となっていると言われる為に、肺炎球菌ワクチン接種で市中肺炎の半分を予防する事が出来ると期待されています。(※図2)

【図3】

## 年齢別肺炎による死亡者数

65歳を超えると肺炎による死亡者数は急激に上昇する



PMV14S031-0716

厚生労働省 人口動態統計年報主要統計表(2010年)より作成

## 社会福祉法人まどか 紹介

### 高森町に地域密着型 特別養護老人ホーム建設中

社会福祉法人まどかは、高森町の方が利用できる地域密着型特別養護老人ホーム（定員29名）の建設と運営を行うため、医療法人円会の関連法人として平成25年2月に設立されました。

今年6月から高森町牛牧地区において施設の建設工事に着手し、平成27年4月の開設を目指して準備をすすめています。居室は全室個室でユニット型の施設となり、ショートステイ（定員11名、高森町以外の方も利用可能）を併設します。

施設運営は、家族や地域との繋がりを大切にし、豊かな自然の中で自分らしい生活をしていただけるよう、施設・職員が一丸となって取り組んでまいります。

現在、施設運営を行う職員を募集しております。（職種：介護職員、看護職員）応募、お問合せは、瀬口脳神経外科病院 職員採用担当宮沢までTEL：0265-24-6655

企画課長 中 謙二



## コラム

### ～ 葉山から富士を望む ～

数日間の研修の合間を見て、富士の初冠雪を見ることができた。三浦半島の葉山の丘陵に立ち相模湾を望むと、昨夜の台風が通り過ぎ伊豆半島が一望できた。週に数回来ているという老人に声をかけると、富士の裾野の下にこんもりとした山、あれが足柄山（金時山）で目線を左に移していくと、あれが天城山だよと教えてくれた。目を凝らすと江の島も見ることができた。

若い頃は、長野にもよく山登りに出かけてねと話が続いた。御嶽山にも降雪があり7名の行方不明者を残したまま、老人は悲惨な山の災害に心を痛めそっと手を合わせていた。数週間に及ぶ搜索も困難を極め、断腸の思いで年内打ち切りとなった。戦後最悪の火山災害は多くの方を悲しみに包んだ。

こうして元気に仕事ができることに感謝しながら、謙虚さをもって現役最終章を終えたいとの思いに瞑想した。

宮澤



# 医師紹介



藤井 雄 医師

10月より赴任いたしました藤井雄と申します。  
 平成23年10月～平成25年4月に勤務した経験があり、  
 1年半ぶりに飯田の地に戻ってまいりました。  
 これまでの経験を地域の皆様に還元できるよう精進し  
 たいと思います。  
 よろしくお願い致します。

## 外来診療時間

受付時間	月曜日～金曜日	午前8時30分から午前11時30分まで
	土曜日	午前8時30分から午前11時まで

## 休診日

日曜日、祝祭日、第2・4土曜日、第1・3・5土曜日午後、年末年始、盆休

## 担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	瀬口達也 院長	藤井 雄	瀬口達也 院長	中村昭則 (信大神経内科 教授)	瀬口達也 院長	銭坂英生 又は 他 医師
	木内貴史 10時から		木内貴史 10時から	黒岩正文 (信州大学) 10時から	藤井 雄 10時から	

担当医は変更になることがありますので、電話にてお問い合わせください

**但し急患は 365日 24時間受け付けいたします**  
**☎ 0265-24-6655**

## 脳ドック ～随時予約受付中～



- ①一般コース:月～金曜日の午後に検査。後日、結果報告を実施。
- ②日帰りコース:奇数週の土曜日の午前に検査と結果報告を実施。

\*お申し込み、お問い合わせは下記ドック室へお願いいたします。  
 ドック室直通TEL:0265-24-7667 FAX:0265-24-6776  
 脳ドックメール:noudokku@seguchi-nouge.or.jp  
 ホームページ:http://www.seguchi-nouge.or.jp/

## 病院だより 第7号

発行 ■ 医療法人円会  
 瀬口脳神経外科病院  
 住所 ■ 長野県飯田市上郷黒田218番2  
 発行日 ■ 2014年10月  
 代表電話 ■ 0265-24-6655  
 問い合わせ先 ■ 医療支援部 宮澤明啓

## 編集後記

今年は記録的な雨の多い夏で、大きな災害も発生し、自然の猛威を痛感しました。  
 先日、当院でも防災訓練を実施しましたが、防災に対する意識を常に持つよう心がけていきたいと思  
 います。